

『責任』

中島板付き、山本入り

山本「こんにちは」

中島「え？え、誰ですか？」

山本「ヤンキーズの山本です。中島君だよね？」

中島「あ！本当だ！僕ファンなんです！え、でも何で？」

山本「君のお母さんから聞いたよ。君はとても重い病気と闘っていて、それを治すには手術を受けないといけない。でもそれは難しい手術で、怖くて手術受ける勇気が出ないって」動

画参照

中島「…」

山本「大丈夫だよ！」

中島「…」

山本「じゃあ、こうしよう。僕が明日の試合でホームランを打つ。そしたら手術受けてくれるかい？」

中島「…わかりました」

山本「よし！じゃあ明日の試合は中島君のために頑張るよ！」

中島「打てなかったら？」

山本「え？」

中島「もし打てなかったらどうするの？」

山本「もし打てなかったら…手術受けない」

中島「でも、僕の病気はいわゆる難病で手術しないと死ぬかもしれないんだ」

山本「それなら受けたほうがいいね」間を開ける

中島「でもそれはホームラン打てた時の話でしょ？打てなかったら？」

山本「打てなかったら、まあ、手術受けなくてもいいけど」

中島「え？手術受けなくていいの？それなら僕が手術受けられるかどうかは、完全に明日の山本選手の結果次第ってことになるけど、僕の病気は手術をしないとほぼ確実に死ぬ難病だから、じゃあもし仮に、明日山本選手がホームラン打てなくて、僕が手術受けられなくて、それで僕が死んだら、今みたいに心から野球楽しめる？」

山本「こわー！！めっちゃ脅してくるじゃん」

中島「明日の結果次第で僕は手術受けられないんだ」

山本「受けられないことはないよ。ホームラン打てなくても手術受けたらいい」

中島「それは約束が違う！」

山本「ええ？」

中島「ホームラン打てなくても手術受けちゃったら何のための約束？」

山本「どこちゃんと守ってんの？」

中島「もう交わしちゃったからね？打てなかったら手術受けられないから僕は死ぬ。つまり

山本選手は僕を間接的に殺すことになるわけだ。遺書に書いとうかな」

山本「怖いこと言わないでよ！ホームランの約束ってこんな責任重たいの！？」

中島「明日打ってね！死にたくないから！」

山本「うん」

中島「明日の相手ピッチャーは、佐々木選手か…」

中島、紙を取り出し何か書き始める、何やってんの顔

山本「遺書書き始めないで！」

山本「うん…。ってか手術ってそんなに難しいの？」

中島「完治する確率は70%って言ってた」

山本「あ、でもそれだけあるなら…」

中島「打率3割ぐらいありますよね？割と打ってるイメージ」

山本「じゃあ割と失敗するなあ！おれがヒット打つ度に失敗してるじゃん。まあ、でもとにかく、明日の試合頑張るよ！」